

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-342119

(43)Date of publication of application : 24.12.1993

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

H04M 11/00

H04N 1/00

(21)Application number : 04-149026

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 09.06.1992

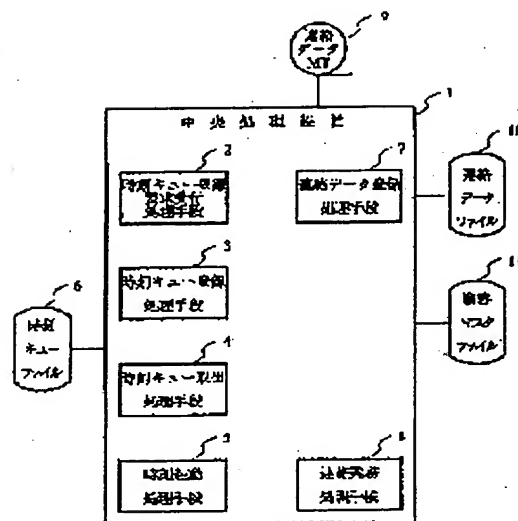
(72)Inventor : KURIHARA YUICHI

## (54) TIME ACTIVATION CONTROL SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To execute the time activation control of a work on which the priority of a customer is reflected in a computer system for allotting data by a telephone or a facsimile to the accumulated customer concerned at the time designated to the customer unit.

**CONSTITUTION:** The system is provided with a time queue registering request reception processing means 2 for receiving a time queue registering request including a designated time, priority and customer information, a time queue registration processing means 3 for updating a time queue file 6 having the queue structure of a time unit based on the designated time, the priority and the customer information informed from the means 2, a time queue fetching processing means 4 which is actuated at every prescribed time and fetches the information concerned from the time queue file 6 and a time actuation processing means 5 for actuating a work processing designated in advance together with the customer information notified from the means 4.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-342119

(43)公開日 平成5年(1993)12月24日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 13/00	3 5 1 C	7368-5B		
H 0 4 M 11/00	3 0 1	8627-5K		
H 0 4 N 1/00	1 0 4 A	7046-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-149026

(22)出願日 平成4年(1992)6月9日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 栗原 裕一

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式  
会社内

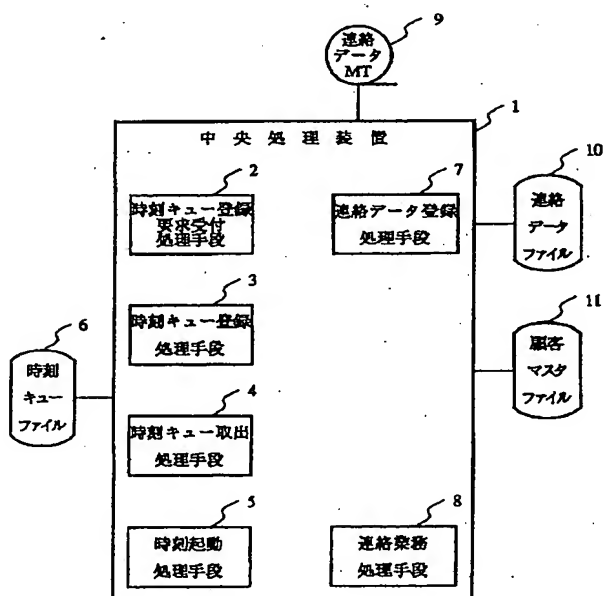
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 時刻起動制御方式

(57)【要約】

【目的】 顧客単位に指定された時刻に、蓄積されていた該当顧客宛にデータを電話やファクシミリにて配信するコンピュータシステムにおいて、顧客の優先度を反映した業務の時刻起動制御を行うことを目的とする。

【構成】 指定時刻と優先度と顧客情報を含んだ時刻キュー登録要求を受付ける時刻キュー登録要求受付処理手段2と、同手段2より通知された指定時刻と優先度と顧客情報をもとに時刻単位のキュー構造を有する時刻キューファイル6の更新を行う時刻キュー登録処理手段3と、一定時間毎に起動され現在時刻に該当する情報を時刻キューファイル6より取り出す時刻キュー取出処理手段4と、同手段4より通知された顧客情報とともにあらかじめ指定された業務処理を起動する時刻起動処理手段5とを備えている。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 顧客単位に指定された時刻に蓄積されていた該当顧客宛データを電話（音声）やファクシミリ（イメージ）にて配信するシステムにおいて、指定時刻と優先度と顧客情報を含んだ時刻キュー登録要求を受付ける時刻キュー登録要求受付処理手段と、前記時刻キュー登録要求受付処理手段より通知された指定時刻と優先度と顧客情報とをもとに時刻単位のキュー構造を有する時刻キューファイルの更新を行う時刻キュー登録処理手段と、一定時間毎に起動されその時刻に該当する情報を前記時刻キューファイルから取り出す時刻キュー取出処理手段と、前記時刻キュー取出処理手段より通知された顧客情報とともにあらかじめ指定された業務処理を起動する時刻起動処理手段とを備えて成ることを特徴とする時刻起動制御方式。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明はコンピュータシステムにおける時刻起動制御方式に関し、特にオンラインコンピュータシステムにおける時刻起動制御方式に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、コンピュータによるオンラインシステムにおいて、時刻起動を制御するためには、指定時刻と顧客情報のみを用いるのが、通常的方式であった。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** 上述のように従来のオンラインコンピュータシステムにおける時刻起動制御方式は、顧客に対する優先度が時刻キューファイル上に反映されないため、複数の顧客の指定時刻が同一である場合に必ずしも優先度の高い顧客に関する業務処理が先に実行されるとは限らないという問題点があった。

**【0004】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明の時刻起動制御方式は、顧客単位に指定された時刻に蓄積されていた該当顧客宛データを電話（音声）やファクシミリ（イメージ）にて配信するシステムにおいて、指定時刻と優先度と顧客情報を含んだ時刻キュー登録要求を受付ける時刻キュー登録要求受付処理手段と、前記時刻キュー登録要求受付処理手段より通知された指定時刻と優先度と顧客情報とをもとに時刻単位のキュー構造を有する時刻キューファイルの更新を行う時刻キュー登録処理手段と、一定時間毎に起動されその時刻に該当する情報を前記時刻キューファイルから取り出す時刻キュー取出処理手段と、前記時刻キュー取出処理手段より通知された顧客情報とともにあらかじめ指定された業務処理を起動する時刻起動処理手段とを備えて構成されている。

**【0005】**

**【実施例】** 次に本発明について図面を参照して説明する。

**【0006】** 図1は本発明の一実施例の構成を示すブ

ック図である。

**【0007】** 本実施例において、中央処理装置1には、連絡データを格納する連絡データMT9より連絡データを入力し、連絡データファイル10に出力後データ中の顧客番号をもとに顧客マスタファイル11を検索し、指定時刻、優先度、顧客マスタポイントを取得する連絡データ登録処理手段7と、連絡データ登録処理手段7から時刻キュー登録要求を受付ける時刻キュー登録要求受付処理手段2と、時刻キュー登録要求受付処理手段2より通知された情報をもとに時刻単位のキュー構造を有する時刻キューファイル6の更新を行う時刻キュー登録処理手段3と、一分毎に起動され現在時刻に該当する情報を時刻キューファイル6から取り出す時刻キュー取出処理手段4と、時刻キュー取出処理手段4より通知された顧客情報とともに顧客への情報通知を行う連絡業務処理手段8を起動する時刻起動処理手段5と、連絡業務処理手段8とを備えている。

**【0008】** 次に図1および図2を用いて本実施例の動作を説明する。

**【0009】** 連絡データ登録処理手段7は、連絡データMT9より連絡データ1を入力し、連絡データファイル10に出力する。その際、入力したデータ中の顧客番号aをもとに顧客マスタファイル11を検索し、指定時刻=9:00、優先度=LOW、顧客マスタポイントP2の情報を得る。連絡データ登録処理手段7は、これらの情報とともに時刻キュー登録要求を時刻キュー登録要求処理手段2に対し発行する。時刻キュー登録要求処理手段2は、時刻キュー登録処理手段3に対し時刻キュー登録を指示する。時刻キュー登録処理手段3は、時刻キューファイル6の9:00の時刻キューにそのデータを登録する（図2の分図C）。

**【0010】** 再び、連絡データ登録処理手段7は、連絡データMT9より連絡データ2を入力し、同様の処理を行う。但し、今回時刻キューファイル6に登録されるデータは、指定時刻が9:00、優先度がHIGH、顧客マスタポイントがPbであるので、時刻キュー登録処理手段3は、優先度に従い、前回登録データの直前に今回のデータを登録する（図2の分図D）。

**【0011】** この状態で、システム時刻が9:00になると、時刻キュー取出処理手段4が、9:00の時刻キューの先頭データ（ポイント:12）を時刻キューファイル6より取出し、時刻起動処理手段5に通知する。時刻起動処理手段5は、連絡業務処理手段8に対し起動要求を行い、顧客マスタポイントPbを通知する。連絡業務処理手段8は、顧客マスタファイル11を参照し、顧客bへの通知業務を行う。

**【0012】** 時刻キュー取出処理手段4は、9:00の時刻キューの次のデータ（ポイント:11）を時刻キューファイル6より取出し、時刻起動処理手段5に通知する。時刻起動処理手段5は、連絡業務処理手段8に対し

起動要求を行おうとするが、現在処理中であるため、時刻キュー登録処理手段2に対し、指定時刻9:03で再度時刻キュー登録を指示する。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、時刻起動を制御するために、指定時刻と優先度と顧客情報とを用いているので、顧客に対する優先度が時刻キューファイル上に反映可能である。従って優先度の高い顧客に関する業務処理が必ず先に実行されるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示すブロック図

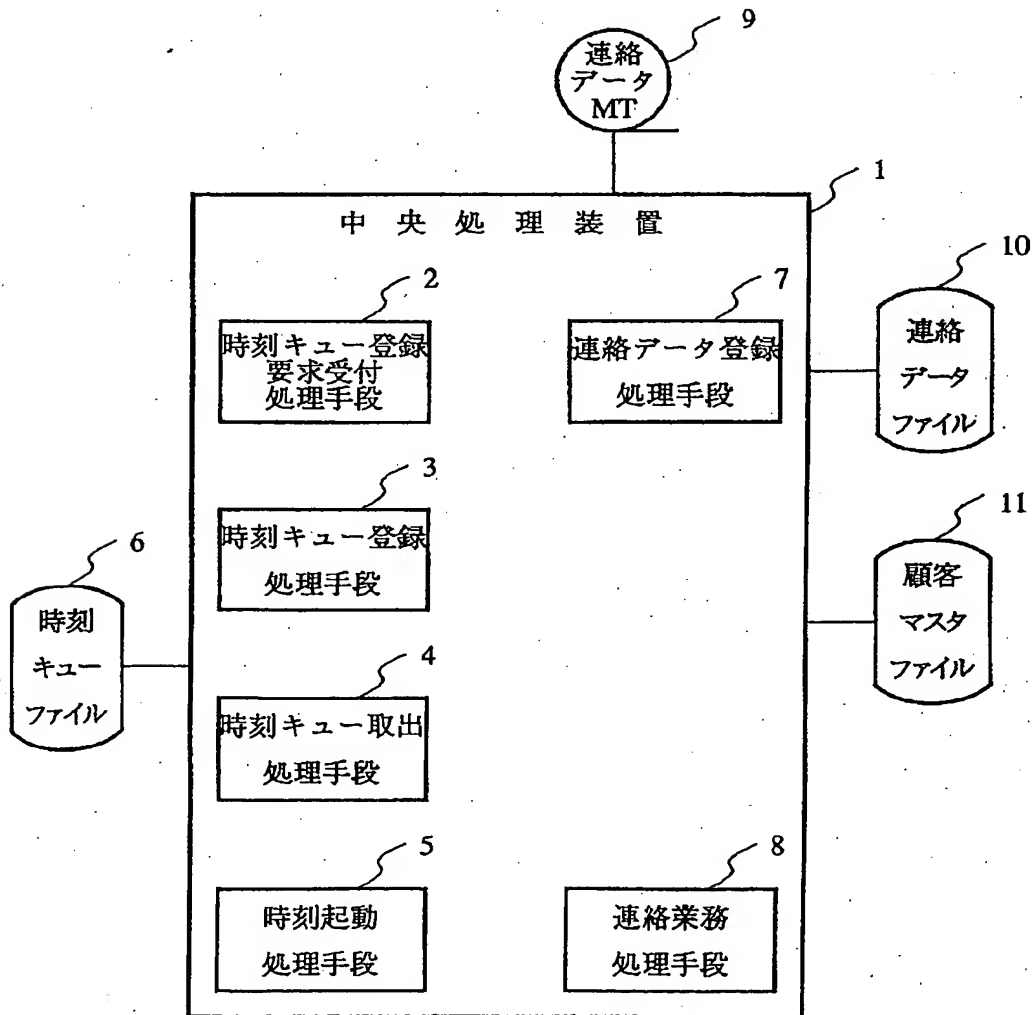
【図2】本実施例に示した各ファイルの構造を示す説明

図

【符号の説明】

- 1 中央処理装置
- 2 時刻キュー登録要求受付処理手段
- 3 時刻キュー登録処理手段
- 4 時刻キュー取出処理手段
- 5 時刻起動処理手段
- 6 時刻キューファイル
- 7 連絡データ登録処理手段
- 8 連絡業務処理手段
- 9 連絡データMT
- 10 連絡データファイル
- 11 顧客マスタファイル

【図1】



【図2】

分図 A 連絡アーク MT の内容

データ 1 顧客番号 a
データ 2 顧客番号 b

分図 B 顧客マスタファイルの内容

ポイント	顧客番号	指定時刻	優先度	電話番号
Pa	Pa	9:00	LOW	
Pb	Pb	9:00	HIGH	

分図 C 時刻キューファイルの内容(1)

ポイント	カウンタ	キュー先頭ポイント	キュー最終ポイント	
I	9:00	I	II	
10	18:00	0	NULL	NULL
II	NULL	NULL	LOW	Pa

時刻別管理レコード

時刻キューデータレコード

分図 D 時刻キューファイルの内容(2)

ポイント	カウンタ	キュー先頭ポイント	キュー最終ポイント	
I	9:00	2	12	II
10	18:00	0	NULL	NULL
II	NULL	9:00	LOW	Pa
12	II	9:00	HIGH	Pb

時刻キューデータレコード